

第3回中部 MIST 研究会 プログラム

- 会 期： 2015(平成27)年3月21日(土) 13:55～
- 会 場： 愛知県産業労働センターウインクあいち902号室
〒450-0002 愛知県名古屋市 中村区名駅 4-4-38
- 共 催： 中部 MIST 研究会、日本イーライリリー株式会社

日整会単位取得予定の先生は、日整会会員 IC カードをご持参ください



プログラム

13:55

開会のご挨拶

蜂谷 裕道

14:00~15:00

一般演題①

座長 竹内 幹伸

- 1-1. MIS-PLIF での最近の工夫-最新の boomerang cage 使用での腰椎前弯の獲得-
名古屋第二赤十字病院 整形外科 脊椎・脊髄外科 松井 寛樹 他
- 1-2. CBT 法を用い単椎間での後方・前方同時手術を行った化膿性脊椎炎の1例
名古屋市立西部医療センター 整形外科 早川 高志 他
- 1-3. Impaction Bone Grafting を目指したボーンファネルの工夫
愛知医科大学 脊椎脊髄センター 竹内 幹伸
- 1-4. 著明な肋間神経痛を呈した胸椎感染性脊椎炎に対し、初回低侵襲後方除圧固定
(片側進入肋間神経除圧, 椎間板ドレナージ, 逆側片側 PPS),
2回目 conventional 前方再建術(血管茎付き肋骨移植)を施行した1例
岐阜大学 地域医療運動器医学 宮本 敬 他
- 1-5. 高度圧潰を呈した骨粗鬆症性椎体骨折に対して前後合併手術を施行した1例
金沢医療センター 整形外科 林 寛之 他
- 1-6. 膀胱直腸障害を伴う破裂骨折に対し MIST による後方整復固定を行った2例
福井総合病院 整形外科 水野 勝則
- 1-7. 骨粗鬆症性胸腰椎椎体骨折に対する椎体形成術と後方固定術の比較検討
稲沢市民病院 脳神経外科 中島 康博 他

15:00～15:05

休憩

15:05～15:35

ミニレクチャー①

座長 高津 哲郎

M-1. 胸椎 PPS を用いた脊椎手術 ～基本手技およびピットフォールも含めて～

川崎医科大学 脊椎・災害整形外科教室 中西 一夫

15:35～15:55

ミニレクチャー②

座長 原 政人

M-2. MSt における O-arm ナビゲーションの有用性

JA 愛知厚生連 江南厚生病院 整形外科 山口 英敏

15:55～16:10

特別レクチャー (International Guest)

座長 原 政人

I-1. The present status of MIS in China

Shanghai Ruijin Hospital, China, Wu Wenjian

16:10～16:15

休憩

16:15～17:15

一般演題②

座長 佐竹 宏太郎

2-1. 新たな術中支援機器の試み -携帯情報端末を用いて-

公立南丹病院 脊椎・脊髄病センター 成田 渉

2-2. 当院における XLIF 手術の短期成績

医療法人蜂友会はちや整形外科病院 吉岡 淳思 他

2-3. 腰椎多数回手術患者に対する XLIF の短期成績:4 例報告

高岡市民病院 整形外科 中野 正人 他

2-4. XLIF における術中終板損傷の危険因子

江南厚生病院 脊椎脊髓センター 佐竹 宏太郎 他

2-5. XLIF による間接的除圧効果の検討

名古屋市立大学医学部 整形外科 大塚 聖視

2-6. O-arm navigation を使用した OLIF の経験

高岡整志会病院 整形外科 中野 恵介

2-7. 成人脊柱変形に対する OLIF 併用経筋膜的椎弓根スクリューを用いた
後方矯正固定術 ―低侵襲化への試み―

国立病院機構宇都宮病院 整形外科 茶藪 昌明

17:15～17:25

休憩

17:25～18:25

特別講演

座長 金村 徳相

S-1 成人脊柱変形の病態と治療戦略～低侵襲化への取り組み～

獨協医科大学 整形外科教室 種市 洋

18:25

閉会のご挨拶（総括）

佐藤 公治

18:30

終了

終了後、意見交換会を 903 号室にて開催いたします

参加登録

- 受付は 13:00 から開始いたします。お名前、ご所属先を芳名帳にご記入のうえ、参加費 1,000 円をお支払いください。
- 日整会単位受講証明書をご希望の方は、別途 1,000 円をお支払ください。
- 日本 MISt 研究会にご入会を希望される方は、所定の入会申込書に必要事項をご記入のうえ、受付にご提出ください。後日事務局より登録完了のメールを送信いたします。
※申込書送付から 1 週間経過しても登録完了メールが届かない場合には、事務局（Tel : 052-751-8197 E-mail : mist_central@hachiya.or.jp）までご連絡ください。

発表規定

- 一般演題の発表時間は 5 分、質疑応答 3 分です。
- 発表は、PC によるプレゼンテーションのみ、その他スライド、ビデオ等は使用できません。発表用 PC は Office2010、スクリーンは 1 面です。
- 今回、発表データの取り込みは行いません。ご発表の際は USB メモリをお持ちいただくか、ご自身の PC をご使用ください。
- 事前のプレゼンデータ確認を推奨しております。13:30 頃までに会場へお越しいただき、動作確認をお願いします。
- USB メモリにて発表データをご準備いただく場合、ウイルス駆除ソフトにてチェックしたものをご準備くださいますようお願いいたします。
- 発表データに動画・音声ファイルがある場合、または Macintosh（アダプタ要持参）をご使用の場合には、ご自身の PC をご使用ください。
- セミナーの円滑な進行のため、ご発表は時間厳守にてお願いいたします。
- 一般演題の発表者の中から特に優れた 1 名に優秀演題賞を授与いたします。

ご協賛いただいた企業様

- エーザイ株式会社
- 小野薬品工業株式会社
- CSL ベーリング株式会社
- センチュリーメディカル株式会社
- ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
デピューシンセス スパイン事業部
- ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
エチコンサージカルケア事業部
- 株式会社田中医科器械製作所
- 株式会社日本エム・ディ・エム
- 日本ストライカー株式会社
- 日本メドトロニック株式会社
- ニューベイシブジャパン株式会社
- ビー・ブラウンエースクラブ株式会社
- HOYA Technosurgical 株式会社
- メドトロニックソファモアダネック株式会社
- 株式会社ロバート・リード商会

(五十音順)

ご協力いただき誠にありがとうございました